

第3回 三二探究発表会に向けて

自殺についての研究計画

6年 B組 14番 松田 真耶

I.論文の「問い」と「結論（Yes/No）」

- ▶ Yes/Noクエスチョン：男性の自殺は月曜日の朝が多い
- ▶ 現時点での結論（YesかNoで）：yes

一説によると、休日を満喫し、非現実的な日常にいたいからと言われている。

はじめに：クエスチョンについての問題 意識・基礎知識

- ▶ なぜ、この問いを設定したのか
看護師になりたい→死と向き合う
死と向き合うにあたり、少しでも死を減らすにはどうしたら良いかを考えた。
個人の行動によって救うことのできる命とは、自殺なのではないかと考えた。
- ▶ この発表を聞くにあたって、知っておいてほしいこと
現在日本では、女性より男性の方が自殺率が高い。

II.結論を主張するための根拠A

- ▶ 男女別の自殺の多い月や曜日、時間の違い。

II. 結論を主張するための根拠B

- ▶ 男女の自殺の特徴（差はなんなのか）

II. 結論を主張するための根拠C

- ▶ 自殺を引き金となるものを少しでも取り除く対策はできないのか？

助けを求める声をあげられない人を、助けるためには？

Ⅲ. 根拠Aが成立するために必要なデータ

①

- ▶ (アンケート・インタビュー)
 - ▶ (実験・観察)
 - ▶ (文献比較) ◎
-
- ▶ いずれかを選択し、どのような調査をこれから行うのか。
全国の男女別で自殺が多い月や曜日、時間の違いを調べる。
厚生労働省などの国が公表しているものを用いる。

Ⅲ. 根拠Bが成立するために必要なデータ

①

- ▶ (アンケート・インタビュー)
 - ▶ (実験・観察)
 - ▶ (文献比較) ◎
-
- ▶ いずれかを選択し、どのような調査をこれから行うのか。
男女の自殺の特徴（差はなんなのか）を調べる。
 - ・自殺に対する捉え方や行動学的なものも使えたらなと思っている。
 - ・経済状況が関係しているらしい？

Ⅲ.研究の推しポイント（オリジナリティ）

男女の自殺の時間帯や捉え方の違いについて知り、多くの人が理解することで少しでも、命を救えるのではないか。

現在テレビ業界で起きている自殺と、関連性はあるのか？

新型コロナウイルスが流行したことによって、個人の生活スタイルが変化し自殺を引き起こす引き金になっているのではないか？

など、現代社会だけでも様々なことと自殺は繋げることが出来る。これからも、感情を持った動物が存在し続ける限り、自殺はあり続けると思う。だとしたら、せめて人間の自殺の引き金を少しでも減らしていければ、大切な命を救えるのではないだろうか。

IV. 今後の研究計画

- ▶ 「Ⅲ.根拠Aが成立するために必要なデータ①②③」、「Ⅲ.根拠Bが成立するために必要なデータ①②③」等を、どのような順番で集めていく予定ですか？

根拠 A が成立するためのデータ①

男女の自殺の多い月や曜日、時間の違い。



根拠 B が成立するためのデータ①

男女の自殺の特徴（差はなんなのか）



自殺の引き金となるものを少しでも取り除く対策はできないのか？

助けを求める声をあげられない人を助けるためには？